

大阪・関西万博を契機としたまちづくり ～御堂筋を中心として～



大阪公立大学

大阪公立大学大学院 工学研究科
教授 嘉名 光市

工学部 都市学科・建築学科
都市計画分野

自己紹介

嘉名 光市（かな こういち）

大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻 教授

博士（工学）、一級建築士。技術士（都市及び地方計画）

1968年大阪府河内長野市生まれ。大阪府立生野高等学校卒業。

東京工業大学工学部社会工学科卒業。東京工業大学大学院社会理工学研究科博士後期課程修了（景観研究）。シンクタンク勤務ののち、大阪市立大学大学院講師、准教授、教授を経て現職。

専門は都市計画、都市再生デザイン、景観論、エリアマネジメント。

大阪市都市景観委員会委員長、神戸市都市計画審議会、堺市都市計画審議会会長、デザイン都市神戸創造会議、神戸市都市計画マスタープラン研究会など 京阪神での都市計画・都市デザインに参画 大阪府市特別参与（-'15）2025年万博基本構想検討会議委員ほか

水都大阪、御堂筋景観ルールの策定および空間再編監修、中之島広場、大阪版BID条例をはじめ、都市再生のための公共空間デザイン・マネジメントを実践するプロジェクト計画立案、制度設計、社会実験を数多く実践。

2015年度 日本都市計画学会石川賞（水都大阪のまちづくり）（共同）

2017年 日本建築学会賞（業績）（大阪市「生きた建築ミュージアム事業」による建築文化の振興）（共同）。

主な著書に「生きた景観マネジメント」（鹿島出版会）、「図説 都市計画」（学芸出版社）,

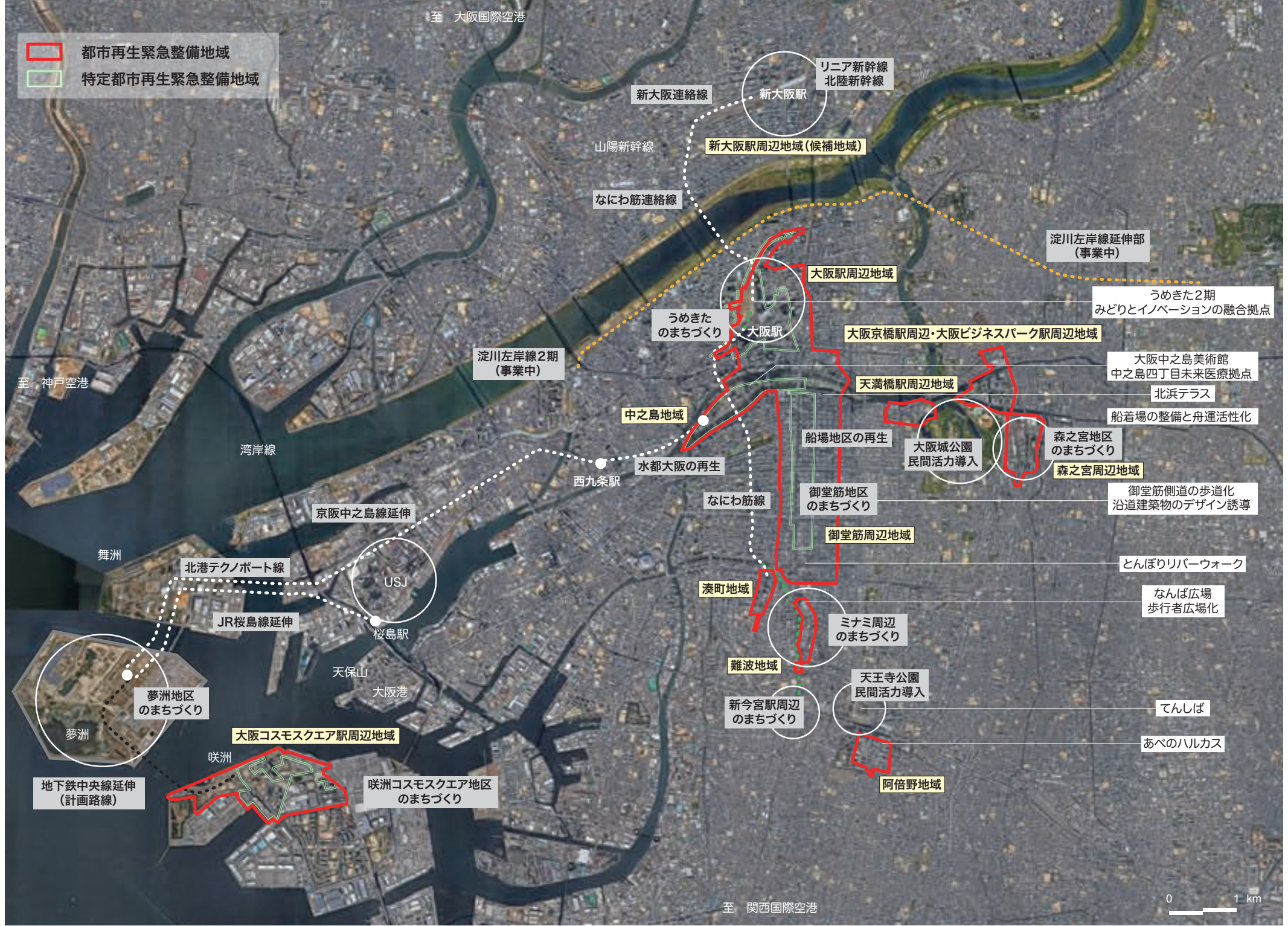
「都市を変える水辺アクション 実践ガイド」（学芸出版社）、「生活景」（学芸出版社）、「景観再考」（鹿島出版会）、「生きた建築 大阪」（140B）、「景観計画の実践」（森北出版）ほか。



御堂筋チャレンジ2021

都市再生緊急整備地域

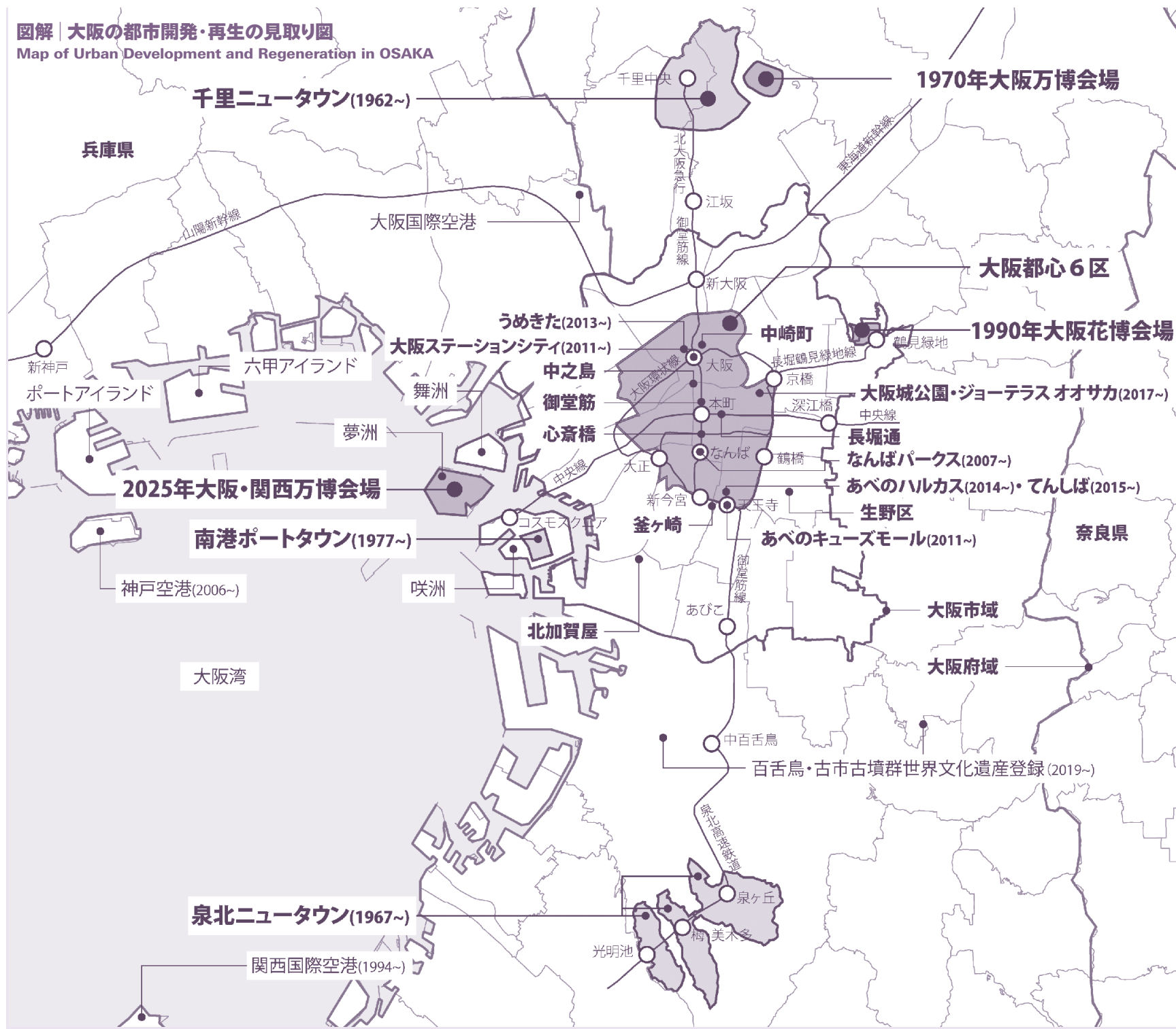
特定都市再生緊急整備地域



大阪の将来像 (各種資料より嘉名光市作成)

大阪のまちづくり
と
万博

図解 | 大阪の都市開発・再生の見取り図
Map of Urban Development and Regeneration in OSAKA



1970年大阪万博

人類の進歩と調和

郊外ニュータウン

新都市

(都心改造)

1990年大阪花博

自然と人間との共生

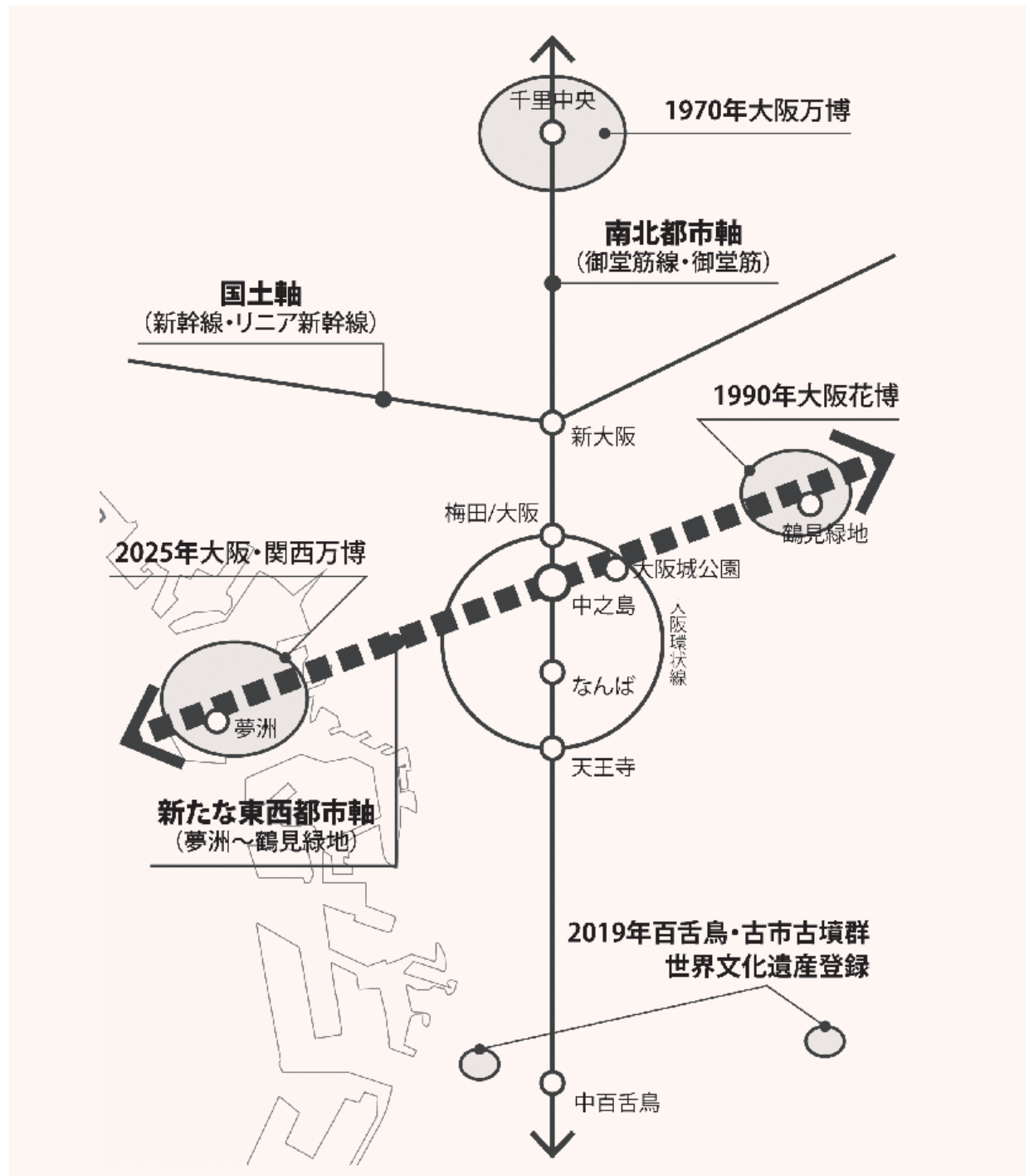
花と緑のまちづくり

2025年大阪・関西万博

いのち輝く未来社会のデザイン

未来社会の実験場

共 創



新たな東西都市軸の構築(作成=益子智之)

大阪都心のまちづくり

2000年代以降の足跡

と未来年表

2000年-

2020年-

2030年-

2050年-

2021
東京五輪

2025
大阪・関西万博
3空港フル活用時代へ

2030
SDGs

2030年代
自動運転
レベル4→5

2050
カーボンニュートラル

2001-
水都大阪の再生（都市再生プロジェクト）

2023
うめきた地下駅開業

2020年代後半
IR部分開業（目標）

2031（目標）
なにわ筋線
新大阪連絡線

2037以降
リニア中央新幹線全面開業
（新大阪）

2001-
とんぼり
リバーウォーク

2009
川の駅はちけんや
水都大阪2009
北浜テラス
2010
中之島公園再整備

2025
阪神高速淀川左岸線
2期開通
淀川大堰水門

2032
阪神高速淀川左岸線
延伸部開通

2036以降（要望）
北陸新幹線全面開業

2016

2025

2037

2019
御堂筋将来ビジョン

2023
なんば広場
部分オープン

御堂筋側道歩行者空間化
（難波～長堀通）
なんば広場全面オープン

御堂筋100周年
フルモール化

2014

大阪版BID条例

2024

2027

うめきた2期
GGO

うめきた2期
GGO

先行まちびらき

全体開業

2030年代半ば
芝田1丁目計画

2003
なんばパークス

2011
大阪ステーションシティ

2012 2013

中之島フェスティバルシティ

グランフロント大阪

2022

OMO7（星野リゾート）

梅田1丁目1番地計画

2014

あべのハルカス

2026

大阪公立大学
森之宮キャンパス

2015

てんしば（天王寺公園）

2112年
9/3
ドラえもん
誕生日



大阪都心におけるウォーカブルな取り組み（嘉名光市作成） 都市計画 Vol.72 No.1 360 日本都市計画学会

御堂筋とは

2017年 御堂筋 傘寿 (80周年)

1937 (S12)

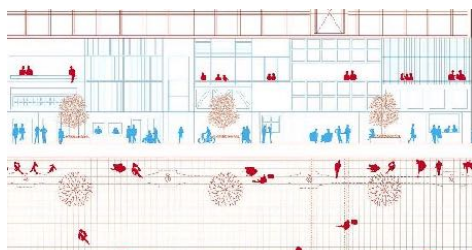


竣工した御堂筋

表1：御堂筋に関する年表

沿道の建築美観誘導や軸線の連続といった視点から、沿道のにぎわい形成、道路空間の再編など多様化が進んでいる

	まちづくり(都市計画)	景観(建築物、沿道)	道路空間
1937	御堂筋竣工(市街地建築物法による百尺(31m)規制)		四列並木(銀杏)
1969	行政指導による軒線31m制限 (御堂筋の景観保持に関する建築指導方針)		
1970			南行き一方通行化
1982		建築美観誘導制度	
1994	御堂筋沿道の軒線50mへの緩和 (御堂筋沿道建築物のまちなみ誘導に関する指導要綱)		<ul style="list-style-type: none"> 御堂筋の自動車交通量の減少 自転車通行量の増加
2001	御堂筋本町北地区、南地区計画		
2004	淀屋橋地区都市再生特別地区		
2006		大阪市景観計画	
2007	都市再生特別地区本町三丁目南地区		
2012	グランドデザイン・大阪 御堂筋フェスティバルモール化(大阪府市)		
2013	【御堂筋沿道の機能更新、低層部のにぎわい、高さ規制緩和】 ・御堂筋本町北地区地区計画 ・御堂筋本町南地区地区計画		【道路空間の再編】 側道閉鎖社会実験(難波周辺)
2014	御堂筋デザインガイドライン (御堂筋沿道建築物のデザイン誘導などに関する要綱 旧建築美観誘導制度) ・まちの将来像 ・まちなみ創造の作法 ・協議型まちなみ創造の実践(御堂筋デザイン会議)		
2016		【モデル整備の実施・検証】 なんばひろば改造計画(なんば広場社会実験)	
2017	御堂筋完成80周年記念事業		
		大阪市景観計画改訂 (御堂筋重点届出区域)	
2018		側道を活用した御堂筋空間再編社会実験 (難波周辺)(御堂筋チャレンジ2018)	
2019		御堂筋将来ビジョン 「世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ」 (2025年側道歩道化、2037年フルモール化)	
		御堂筋パークレット社会実験(本町地区) 御堂筋道路空間デザイン指針	
2020		官民連携による御堂筋の沿道検証および利活用 難波周辺(御堂筋チャレンジ)	
2025	側道を歩道へ		



生きた景観マネジメント

日本建築学会
景観賞

環境の変化を受けながらも、
いままも生き生きとある都市やまち、
場所を物語る景観

生きた景観。

助成の20年と見聞の20年
育てるマネジメント・三法社
景観づくりの新たな展開の手がかりである。

生きた景観マネジメント
(鹿島出版会)

御堂筋の空間再編

Les Champs-Élysées, Paris





SONY

USHIO
Lighting—Edge Technologies

ヤマトヤ

ようこそ
新橋へ

すし宗

サッポロビール



New York
Times Square 広場化



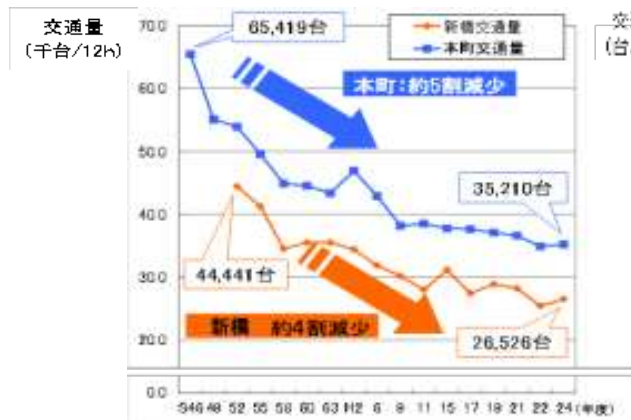
Bourke Street



Bourke Street

御堂筋に関する基礎情報（変遷）

- ・ **自動車交通量**は約40年前に比べ**約4～5割減少**
- ・ 一方、**自転車交通量**は、約40年前の**約6～7倍**と大きく増加
- ・ **歩行者交通量**についても長堀通付近では、**約3倍**と大きく増加



<自動車交通量の変遷>



<自転車交通量の変遷>



<歩行者交通量の変遷>

課題

歩行者、自転車交通量が増加している中、**歩道内で歩行者と自転車が輻輳**するなど、交通面における課題が深刻化している。

特に、休日の道頓堀川周辺では、歩行者交通量が新橋の交通量の約3倍近くもあり、**安心して通行できない**。



休日の道頓堀付近



御堂筋道路空間再編整備ガイドライン (みちガイドライン)

Midosuji Streetscape Redevelopment Guideline

Ver. 1.0



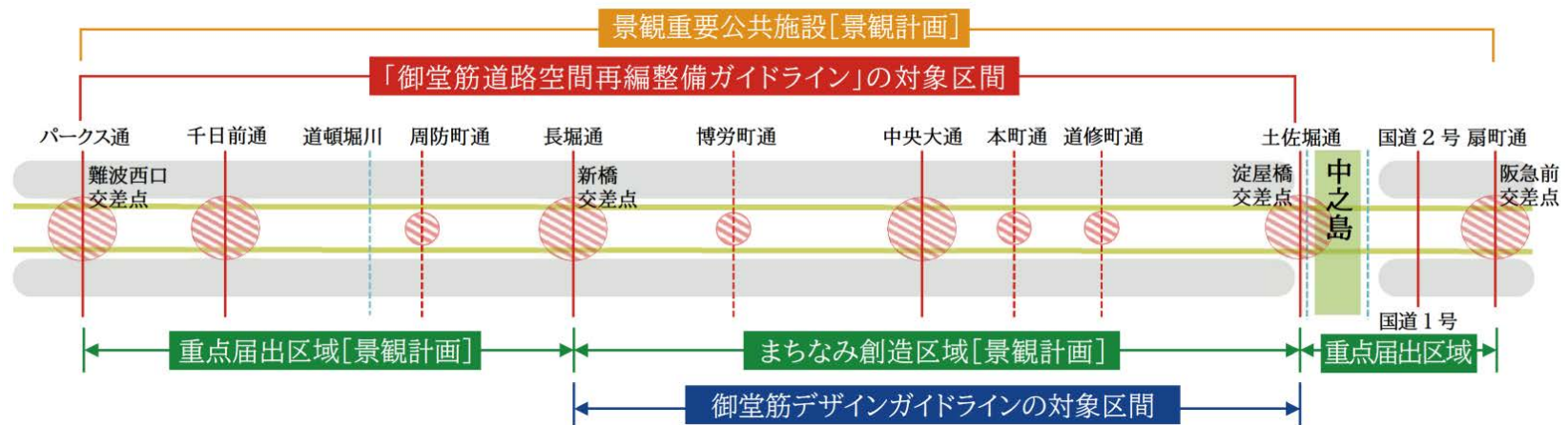
1 はじめに Introduction

1-3. 対象区間及び対象範囲

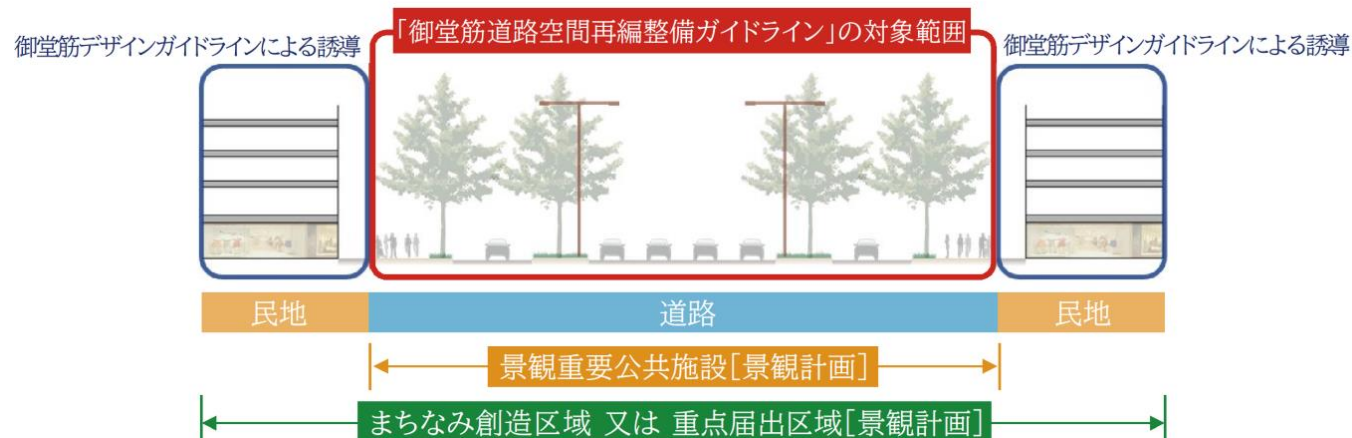
本ガイドラインでは、対象区間を「淀屋橋交差点～難波西口交差点」、対象範囲を「道路区域内」とします。

街路景観は、沿道建築や壁面後退部のデザインと一体的に考えられるもので、そのデザインのあり方は「御堂筋デザインガイドライン」及び「景観計画（重点届出区域/まちなみ創造区域）」で定められています。沿道建築と道路空間が一体となった景観誘導を行っていくため、本ガイドラインでは、御堂筋デザインガイドラインや景観計画で示された方向性と整合する形でデザインの考え方を規定しています。

▼「御堂筋道路空間再編整備ガイドライン」の対象区間



▼「御堂筋道路空間再編整備ガイドライン」の対象範囲



1 はじめに Introduction

1-4. 対象とするデザインエレメント（街路景観要素）

ここでは、本ガイドラインの対象とする御堂筋の地上工作物のデザインエレメントを示します。これらのデザインエレメントごとにデザインの考え方を規定し、空間の質の向上を図っていきます。

▼対象とするデザインエレメント



主に道路附属物・交通信号等として設置するデザインエレメント

- 1) イチョウ
- 2) 車道照明
- 3) 歩道照明
- 4) 門型柱
- 5) 信号・標識
- 6) 舗装
- 7) 縁石・排水施設等 (端部・境界表現)
- 8) 横断防止柵・ポラード等 (安全施設)
- 9) サイン (歩行者向けサイン)
- 10) 植栽 (地被類)
- 11) ベンチ等 (ストリートファニチャー類)

主に道路占有物として設置するデザインエレメント

- 12) 地下出入口上屋等
- 13) 換気塔
- 14) 常時設置するその他の占有物
- 15) 利活用に係る工作物 (テーブル・パラソル等)

目 的

＜まちの将来像とまちなみ創造の作法の共有と協議型まちなみ創造の実践＞

- ・国内外を問わず、土地所有者、建物事業者、店舗等のテナント事業者等、まちづくりに参画するすべての人々（事業者等）が御堂筋エリアの将来像と、御堂筋沿道における景観形成だけでなく幅広い視点からのまちなみ創造の作法を共有する必要があり、その羅針盤として本ガイドラインを策定するものです。
- ・本ガイドラインに沿って本市と事業者等が協議を行うことにより、デザイン等を適切に誘導し、もって、大阪のシンボリストリートにふさわしいにぎわいと魅力あるまちなみ創造、ひいては、御堂筋の活性化を推進することを目的とします。

＜進化するガイドライン＞

- ・社会環境・経済情勢の変化等に対応して、その内容を適宜見直し、より望ましい姿へと進化させていくこととしています。

基本的な考え方

- ・より良いまちなみの実現をめざし、風格のあるまちなみを形成するための形態誘導や、にぎわい形成のための具体的な指針等を示します。
- ・建築物の外観デザインや低層部のにぎわいの質などは、一定の条件のもとに事業者の創意工夫に委ね、魅力的で陳腐化しないまちづくりの実践を誘発することを意図し、望ましい参考事例等（写真等）を列挙しながら、指針等を示します。

対象となる行為

- ・建築物を新築、増築、改築、移転する場合
- ・道路に面する外観の模様替え、外構の模様替えをする場合
- ・用途変更、大規模の修繕又は大規模な模様替えをする場合
- ・屋外広告物を設置、増設、表示の変更、移設、改造する場合

◆御堂筋にふさわしいにぎわいと魅力あるまちなみのルール

大阪のシンボリストリートにふさわしいにぎわいと魅力あるまちなみ創造に向けて、周辺のまちなみの状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮したうえで、建築物及び敷地単位のみだけでなく、周辺環境や御堂筋沿道全体として調和も配慮しながら、本デザインガイドラインに沿って建築物等の配置、規模、形態・意匠、低層部の用途等の内容について検討してください。

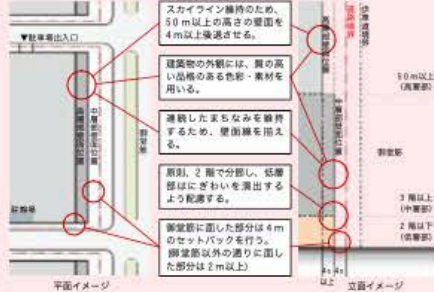
① 風格あるビジネスゾーンの形成に向けて

1) 落ち着きと統一感のあるまちなみの形成

●御堂筋にふさわしい外観

形態) ～基壇部の形成～

・これまでに形成されてきたまちなみの連続性を継承するため、50m以下の部分で基壇部を形成する
＜建物の配置と外観のデザイン＞



意匠)

・低層部と中層部はデザイン的に分節されるよう工夫すること



素材や意匠の切り替えにより低層部と中層部を分節している例

・壁面は窓と壁で構成することを基本とする



独立窓と陰影を創り出している例

マリオンとルーバーで分節し存在感を出している例

マリオンにより垂直方向のラインを強調している例

～50m軒線の強調～

・まちなみとしての50m軒線を強調する

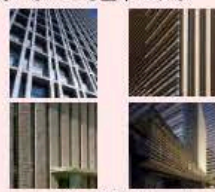


軒飾りで軒を強調している事例



中層部と高層部で意匠を切り換えている事例

壁面の素材は重厚感があり、時の経過とともに風合いを増すもの等を用いることを基本とする



外観の素材イメージ

2) 街区で調和した魅力的な空間づくり

・船場後退・壁面後退部分の設えの配慮



A

・植栽の配置の統一



並木をAの位置に設けた例

・舗装材（歩道・壁面後退）の統一への配慮



東西方向道路の舗装材・舗装パターンの違い など

② 上質なにぎわいのあるまちなみの形成に向けて

1) 低層部におけるにぎわい形成に資する用途の導入

●御堂筋に面する低層部の用途

- ・店舗、飲食店、展示場、美術館、博物館の用途を基本とし、御堂筋にふさわしい用途・テナントの質、および、形態・意匠などについて配慮



低層部に店舗や飲食店を導入することで、業務時間外にも新たな人の流れが生み出され、にぎわい形成につながっている例



1階と2階に店舗を設けている例

2) 低層部における上質で魅力的なにぎわい空間の創出 (形態・意匠等)



まちなみをつくりつつにぎわいを醸し出すことができるしつらえを工夫してください



ヒューマンスケールに配慮し小割りとし、透過性のある構成としてください



2重線部分が一体性のある空間となるよう配慮してください

3) 船場地区を含めたにぎわい機能 空間の拡張

- ・御堂筋以外の道路沿いへのにぎわい誘導の検討



4) オープンスペースの利活用

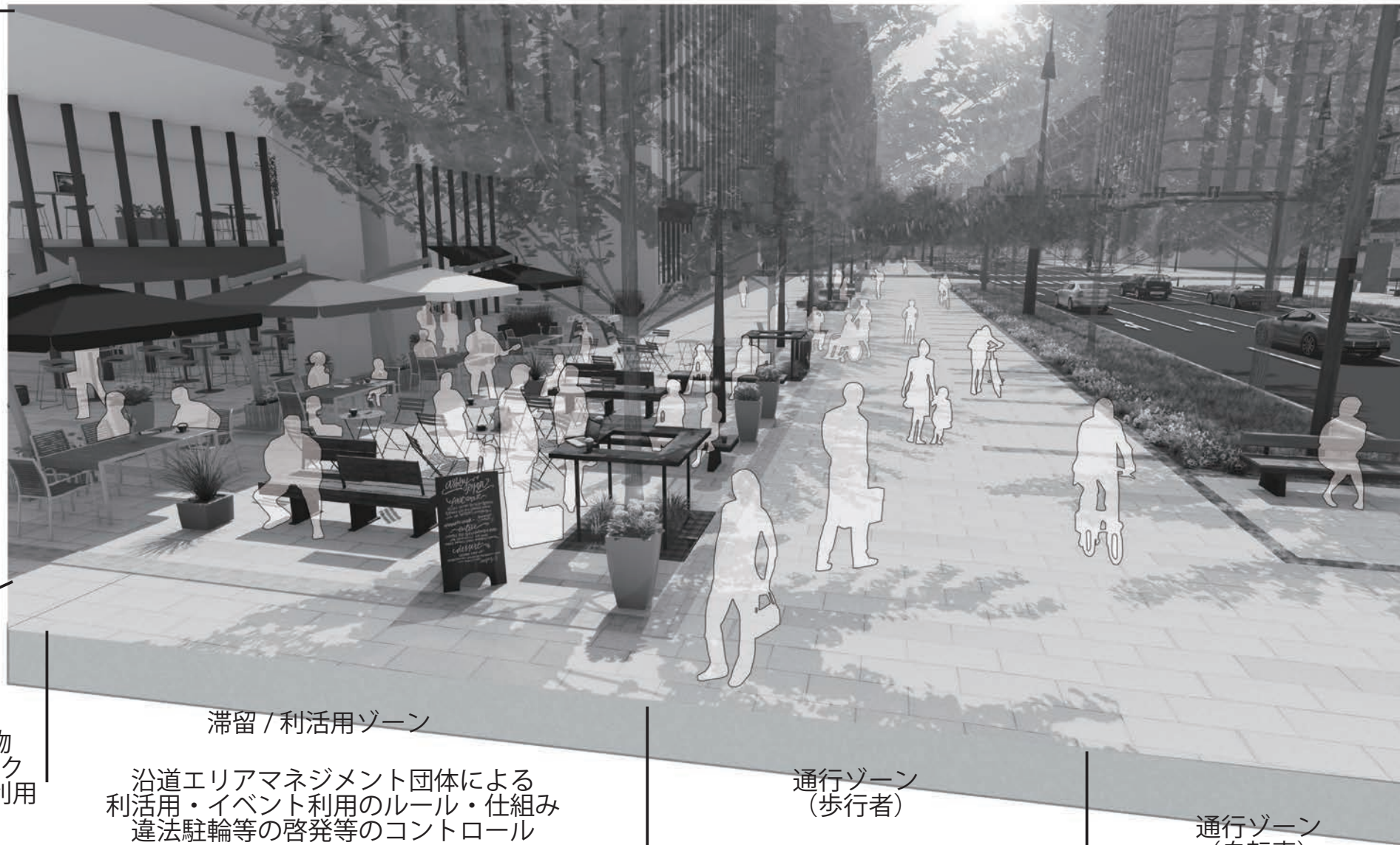
5) 魅力的な夜間景観の創出

- ・沿道への漏れ光に配慮
- ・上質で温かみのある御堂筋にふさわしい色温度 (3000K以下) を原則とする



など

大阪市：地区計画＋御堂筋デザインガイドラインによる誘導
＋エリアマネジメント団体による景観コントロール



滞留/利活用ゾーン

沿道エリアマネジメント団体による
利活用・イベント利用のルール・仕組み
違法駐輪等の啓発等のコントロール

通行ゾーン
(歩行者)

通行ゾーン
(自転車)

沿道建築物
セットバック
空間の一体利用

御堂筋デザイン会議
による協議（建築物等）

大阪市：御堂筋道路空間デザイン指針に基づく道路空間の設計
（御堂筋道路空間の再編と道路付属物、占用物等の一体的デザイン）

エリアマネジメント団体等との協議
（御堂筋協議会）

御堂筋の将来については、国土交通省の管理の時代から現在に至るまで
様々なかたちで議論、検討が行われてきました



御堂筋空間利用検討会（全5回）

2009(平成21)年

御堂筋の空間利用に係る中間提言（H24.3）

2012(平成24)年

国交省から大阪府に移管（H24.4）
「グランドデザイン・大阪」（H24.6）

【空間利用コンセプトと将来像】

世界に誇れる魅力と賑わいにあふれた空間の創出



2013(平成25)年

大阪市都市計画審議会専門部会
（H25.3）

「御堂筋エリアのビジョン」

御堂筋デザインガイドライン（H26.1）

【まちづくりの方針と沿道建築デザイン誘導】

大阪の伝統と革新がうみだす世界的ブランド・ストリート
～歩いて楽しむ、24時間稼働する多機能エリアへ

2014(平成26)年

御堂筋の空間再編について（案）（H26.10）

【道路空間再編の基本整備方針】

車重視の道路空間から人重視の道路空間へ



2016(平成28)年

パブリックコメントの実施（H26.10）

御堂筋完成80周年記念事業
推進委員会設置（H28.11）

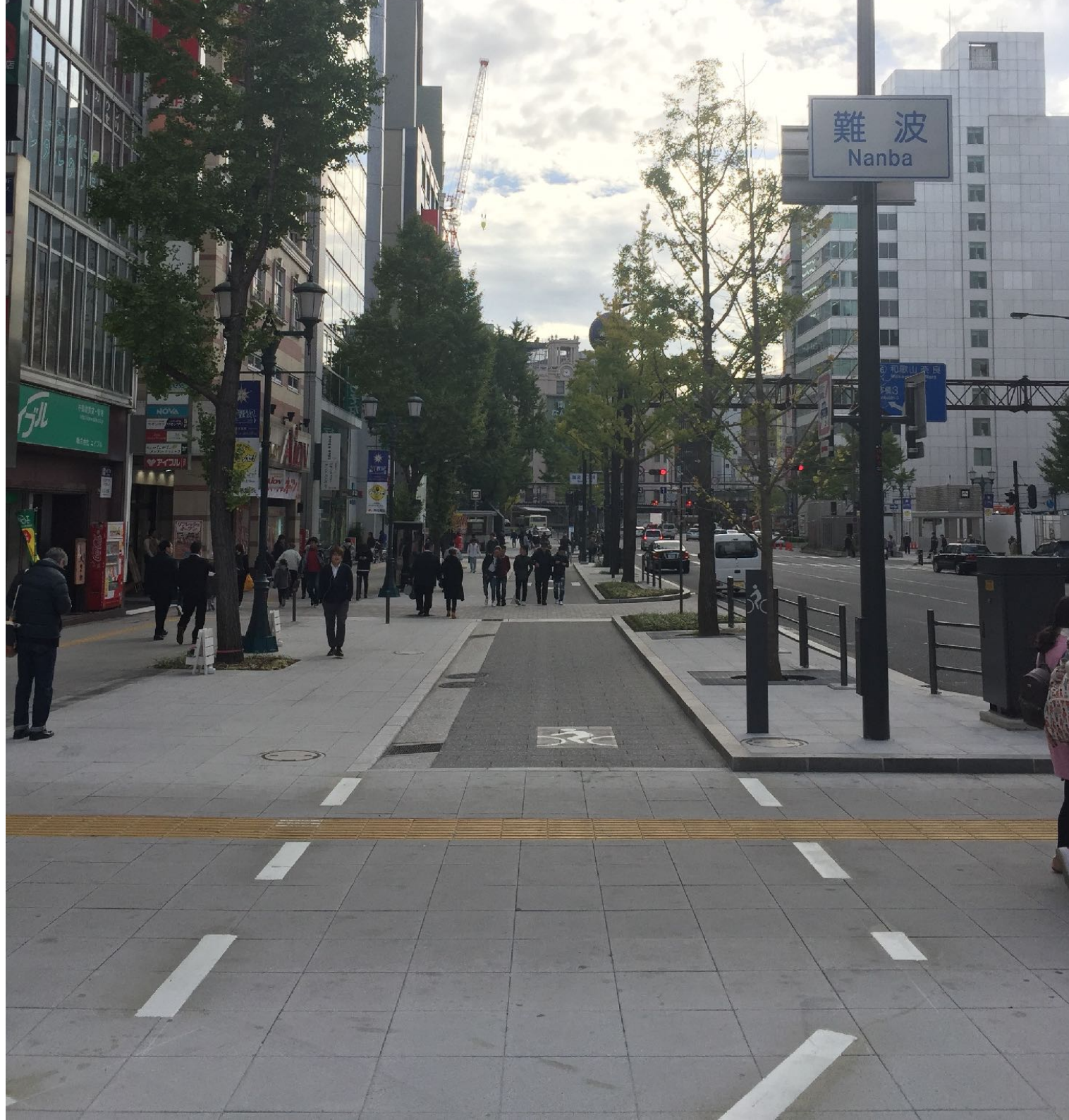
モデル整備の実施・検証（H28.1～）

2017(平成29)年

御堂筋完成80周年（H29.5.11）

御堂筋完成80周年記念事業





御堂筋将来ビジョン実現に向けて

御堂筋将来ビジョン実現に向けては、都心部の交通ネットワークの再編や沿道建物の誘導、持続可能な都市への転換に向けた社会インフラの構築など、様々な分野において段階的に取り組むことが必要であるため、まずは側道を活用した空間再編に取り組むこととします。こうした取り組みをふまえながら御堂筋完成100周年をターゲットイヤーとして検討と実践を進め、将来ビジョンの実現をめざします。

【側道歩行者空間化に向けたこれまでの取り組み】

御堂筋千日前通以南モデル整備 平成28年11月完成

●側道を活用し喫緊の課題となっている歩行者と自転車が歩道内で混在している状況の解消を行うとともに、御堂筋全体の道路空間再編のイメージを現地で可視化し、歩行者・自転車通行の安全性や快適性等の道路空間のあり方の検証につなげていくことを目的として実施しました。



整備前 → 整備後

1 現況

▶ 御堂筋完成80周年(2017年～)



将来ビジョン実現に向けたファーストステップとして側道歩行者空間化に取り組みます。

2 ファーストステップ 側道歩行者空間化

▶ 短・中期(2018年～)



【側道歩行者空間化に向けた主な取り組み】

- エリアの特性をふまえた、面的な視点での空間づくり
- 社会実験などによる交通や荷捌きへの影響の検証
- 将来ビジョンを推進する公民連携体制づくり…など

3

将来ビジョン

▶ 長期

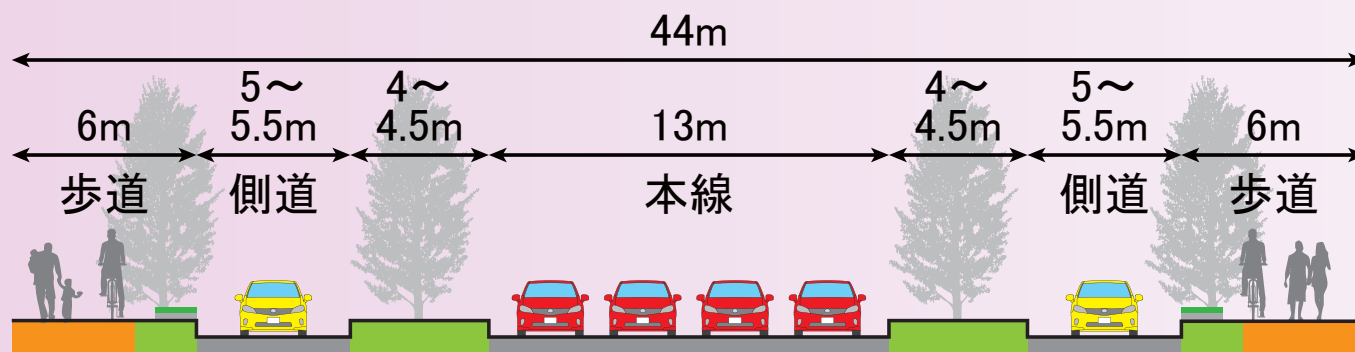
御堂筋完成100周年をターゲットイヤーとして設定



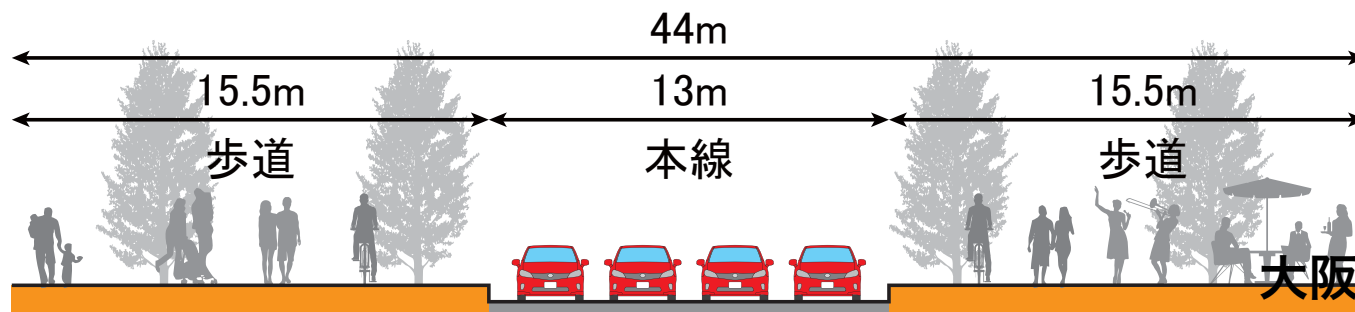
【将来ビジョン実現に向けた主な取り組み】

- 都心部全体の交通ネットワークの再編
- 沿道建物の誘導
- スマートシティの考え方に基づく暮らし、ビジネス、社会的インフラの構築・持続可能な都市への転換
- 歩行者と多様なモビリティが安全に共存できる仕組みづくり …など

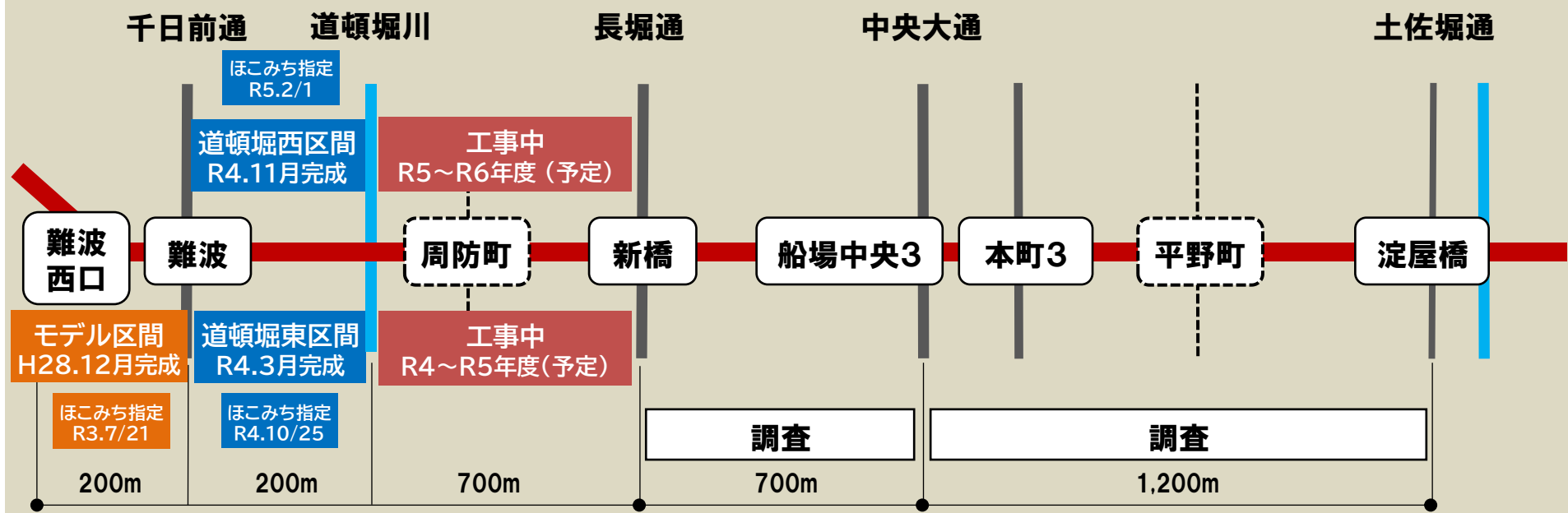
現況



側道歩行者空間化



● **工事の進捗（令和5年6月時点）**





御堂筋の社会実験

難波
Namba

3F
株式会社 美粧美容研究所
与 美粧美容カンセラーズグループ
美粧美容センター
① 敷地 110 ㎡

5F
中央
コンタクト

Hair Salon
美粧館
2F

口が緩れるほど
喋れる英会話
ラボール22







御堂筋チャレンジ2022



御堂筋チャレンジ2022



ビッグデータ会社（株式会社unerry）によるプレゼン



大阪市大による研究成果発表



社会実験データの共有

沿道協議会ワーキング 2019年2月～3回開催

回遊創出研究会準備会 2020年2月21日
ビッグデータ等のプレゼンテーションと意見交換

第1回研究会 2020年10月23日
ビッグデータ等のプレゼンテーションと意見交換
社会実験と実証実験について説明

御堂筋
チャレンジ
2020

第2回研究会 2021年3月16日
12月実施の社会実験と実証実験の報告

第3回研究会 2021年10月20日
社会実験と実証実験について説明

御堂筋
チャレンジ
2021

第4回研究会 2022年3月16日
・学生による研究の報告
・御堂筋チャレンジ2021・なんば駅前広場社会実験の結果報告と意見交換

一社大阪活性化事業実行委員会／中央区商連への報告

2022年度は、「滞在空間づくり」と「分散型イベント」での回遊促進を実施

ミナミ・ウォーカーブル・ストリート

2025大阪・関西万博に向け、まちと、みちと、DXでつなぐ、ミナミエリアの一大社会実験

御堂筋チャレンジ

10/15-11/13

(商店街・エリマネ団体ほか)
⇒休憩・滞在空間による回遊促進

○南北のウォーカーブル環境づくり（御堂筋）

・御堂筋の2期整備区間（道頓堀川～千日前通）完成に合わせた、滞在空間の実験（ベンチの設置など）



○東西のウォーカーブル環境づくり

・東西方向の商店街と連携した、路地空間のウォーカーブルな魅力
・空間づくりの実験（オープンカフェなど）



道頓堀リバーフェスティバル

11/12,13

(地域・商店街・中央区役所)
⇒分散型イベントでの回遊促進

○リバーフェスティバルで回遊

・11/12～13開催の道頓堀リバーフェスティバル2022にあわせて、駅・なんば駅前広場からイベント会場への回遊（とんぼりリバーウォーク、YESシアターほか）

○ARスポットで回遊

・ミナミ商店街や観光名所でのARスポットの設置（音声ガイドやVR動画で紹介）
・ARスポットをめぐるまちあるき企画



産官学でのデータ検証

・おもてなしコンテンツ・ルートづくりと連動したデータ等による検証
・東西や南北分担解消、放置自転車など、課題解決に向けた実証やデータ取得など

ICT技術によるデータ取得

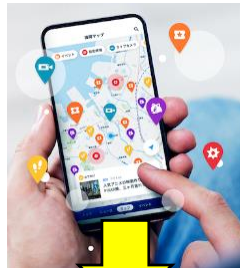
空間調査・解析

① 携帯 人流データ (KDDI Location Analyzer)



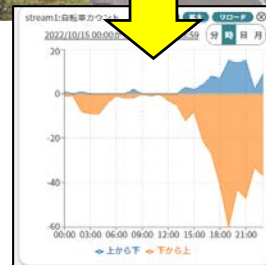
携帯電話の位置情報データで、人の流れや移動、滞在時間などを把握

② スマホアプリ 人流データ (unerry)



同意が得られたスマホアプリユーザーの位置情報データで、人の流れや属性を把握

③ AIカメラ 人流データ (商店街/大阪市)



人流をAIカメラで取得し、個人が特定されない形で解析、通行量などを把握

④ 空間調査解析 データ (Space Syntax Japan)

空間特性の指標化



② 認知的な街路構造特性 (表通りか、裏通りか)

③ 動的な街路構造特性 (経路としての特性)



④ 沿道の土地利用 (建物用途・出入口の分布)

⑦ 詳細な空間特性 (視覚的・動的なつながり)

道路の形やつながり、沿道の使い方など…まちの空間特性を可視化し分析する

⑤ 研究調査 データ (大阪公立大学)



学生の研究として滞在や回遊など多角的な調査・分析を行う

商店街・エリマネ団体

データベンダー
調査機関・コンサルタント

産官学の連携

大阪市

大阪公立大学

御堂筋沿道低層部における空間変化に伴う街路景観の印象評価に関する研究（平田遙久）

御堂筋の空間再編と沿道建築の更新によって変化した街並みの印象評価は？

御堂筋チャレンジ2022での滞留スポットの利用実態と歩道上の通行行動について（遠藤真仁）

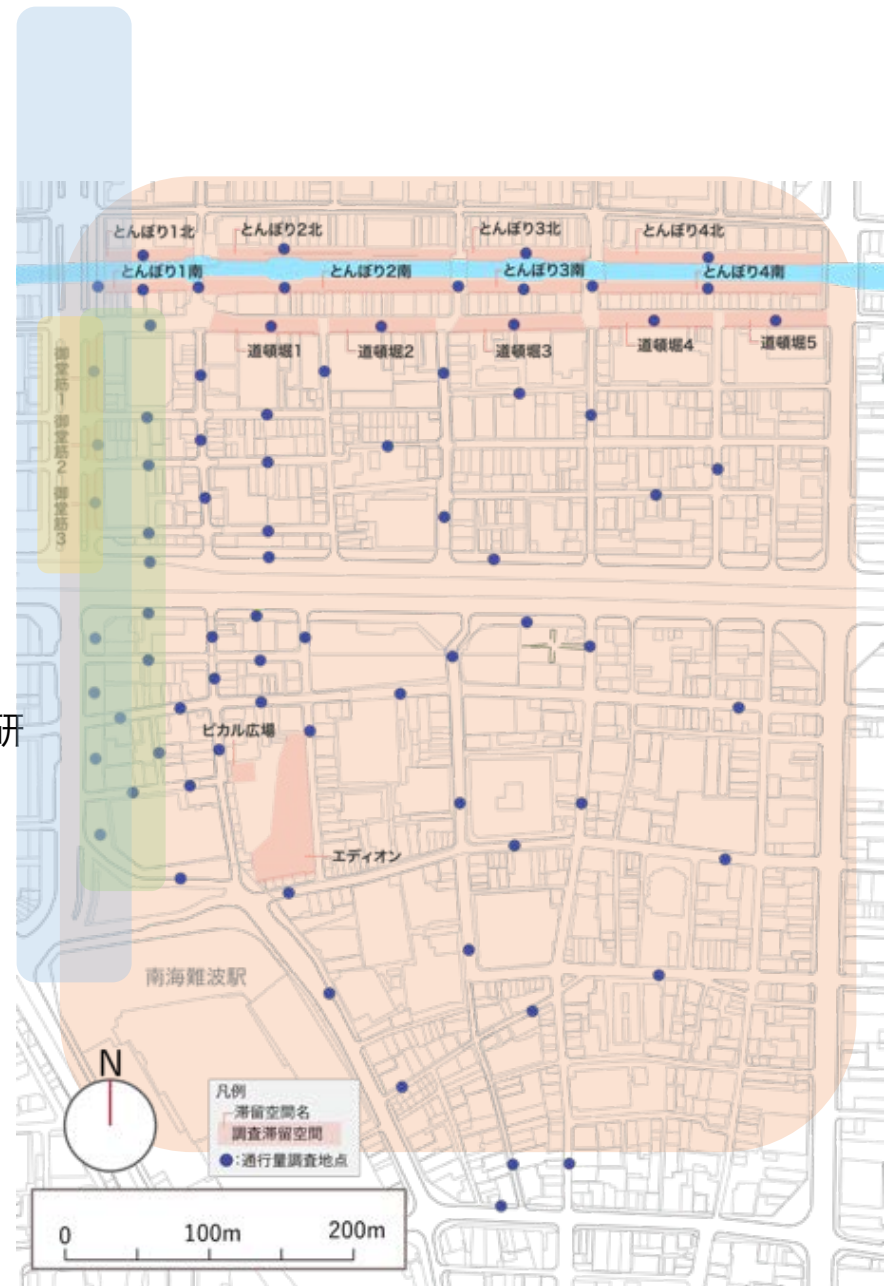
広がった御堂筋歩行者空間の滞留・通行の実態とベンチのあり方は？

メインストリートに接する横道における歩行者行動に関する研究 -大阪・難波地区を対象として-（神田佳祐）

御堂筋とその周辺市街地をつなぐ横道はどのように使われているか？

都心部メインストリート周辺における歩行者通行量と滞留行動に関する研究 -社会実験・御堂筋チャレンジ2022を対象として-（土屋文佳）

御堂筋とその周辺市街地の通行量・滞留の比較 周辺市街地との相互影響は？



滞在 長く過ごす

休憩できるベンチを
御堂筋に設置して…



来訪者 **増↑** 滞在時間 **増↑**

前年比約125%

※御堂筋2期区間の来訪数
(携帯人流データ)

前年比約15%

※周辺エリアの総滞在時間
(携帯人流データ)

回遊 歩きまわる

社会実験や東西通りで
オープンカフェなどを
実施して…



移動距離・範囲 **増↑**

平均移動距離

165.2m⇒277.9m

※カフェストリート来訪者の追跡調査結果

購買 売上が伸びる

滞在、回遊行動を
促した結果…

来店者 **増↑**

前月比平均131%
(最大200%)

売上 **増↑**

前月比平均136%
(最大200%)

※戎橋筋商店街沿道21店舗へのアンケート結果

○滞在空間整備や東西道路との連携は、エリアの回遊を促す上で効果的
⇒広場や前後区間の整備状況を踏まえつつ、より本格的な空間活用が望まれる

②一息つける やすめる場所づくり

- ・御堂筋・なんば駅前広場の道路空間再編と滞在・休憩空間づくり
- ・道頓堀リバーウォークの活用
⇒回遊の延伸、消費行動へつなげる



①おもてなし、回遊の ゲートづくり

- ・南海なんば駅・なんば駅前広場のおもてなし空間ゲートから回遊へ
- ・駅からサインや観光案内・情報提供の整備 ⇒駅から次の行動を促す



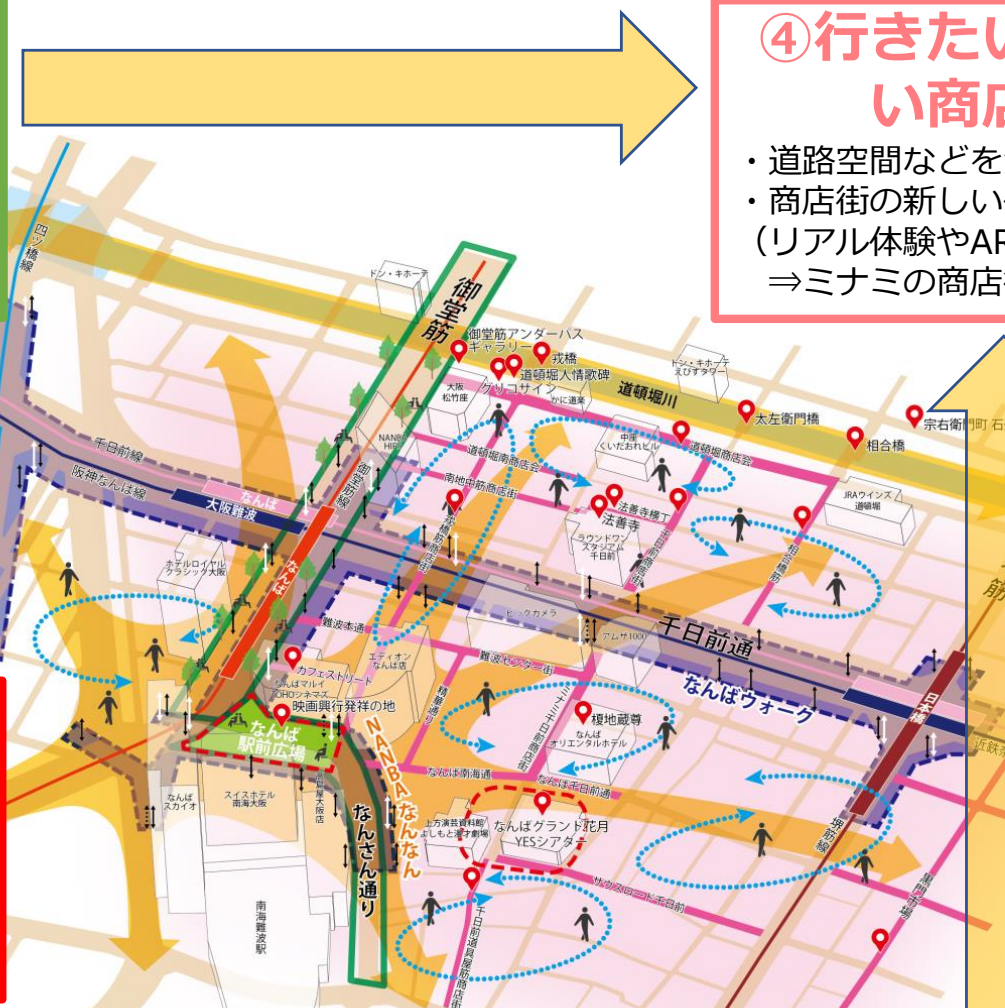
④行きたい、歩いて楽し い商店街づくり

- ・道路空間などを活用
- ・商店街の新しい体験・コンテンツづくり
(リアル体験やARなど)
⇒ミナミの商店街で楽しくお買い物



③歩きやすい、動きやす い街づくり

- ・地下・地上や南北の動き・分断の改善
- ・東西の通りの魅力アップ
- ・移動手段・モビリティや情報の改善
⇒できるだけ地上に上げる、動きやすく



御堂筋の未来

<http://www.pedestrian.melbourne.vic.gov.au/?>

[_ga=2.231972631.969587462.1651824943-1885962447.1651824943#date=06-05-2022&time=17](http://www.pedestrian.melbourne.vic.gov.au/?_ga=2.231972631.969587462.1651824943-1885962447.1651824943#date=06-05-2022&time=17)



世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ みちからまちを変えていく

御堂筋未来ビジョン 2019.3



Activation

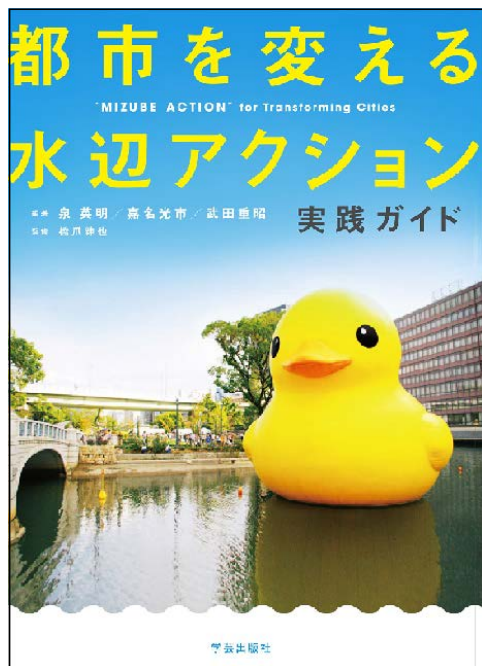
Comfort

Mobility

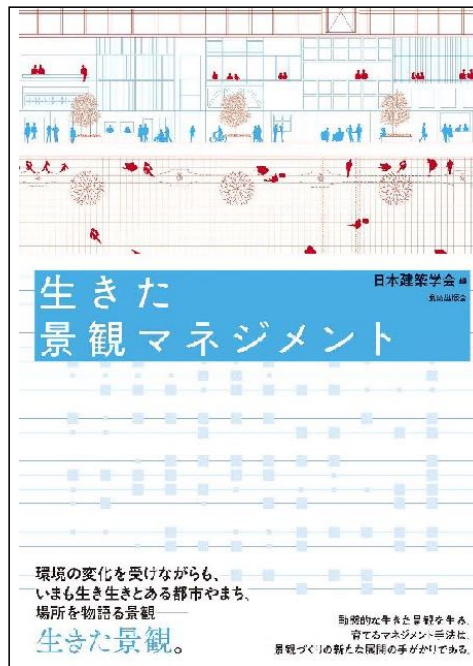
2025 大阪・関西万博

2037 御堂筋100年

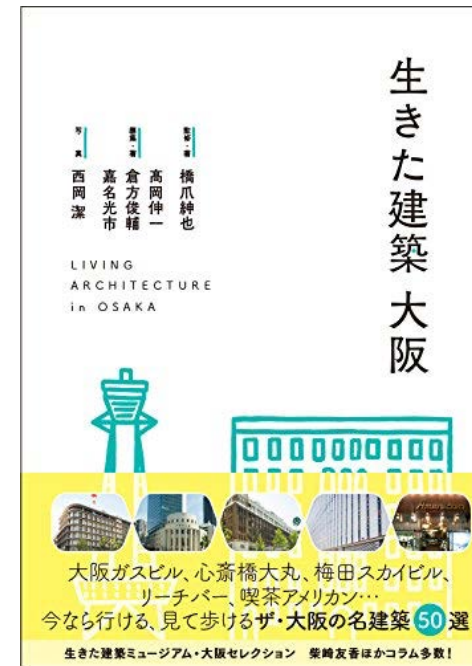
フルモール化へ



都市を変える水辺アクション
(学芸出版社)



生きた景観マネジメント
(鹿島出版会)



生きた建築 大阪
(140B)



生きた建築ミュージアム
フェスティバル大阪
2023公式ガイドブック



図説 都市計画 (学芸出版社)
2022.10.26 発売